

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	小林 加代子 【比較社会文化学専攻 平成23年度生】	学位論文審査は、平成26年11月5日から平成27年2月27日まで行われた。最終試験は平成27年2月27日に行われた。またそれに先立ち同日、論文の公開発表会があった。
論文題目	元禄赤穂事件における「義」の観念について	本論文の主旨は、元禄赤穂事件ならびに「忠臣蔵」を題材として、そこに見出される「義」の観念とはいかなるものかについて考えることを目的とする。その特徴は、「義」の観念を包括的に考察し、ここに付随する問題点を確認しながら、「義」の意味がそのときどきの「義士」像の変遷に関連することを丁寧に解明したところにある。
審査委員	(主査) 教授 高島 元洋	第一章では、「義」がこれまでどのような意味で使用されてきたかについて、近世武士道書を取り上げて検討した。第二章において、元禄赤穂事件の発生から「赤穂義士」の成立までを検討し、「義」をどのように認識していたか考える。第三章は、赤穂義士論争を通観し、「義」の観点から整理しなおすことを目標とする。第四章では『碁盤太平記』『仮名手本忠臣蔵』などをとり上げる。第五章においては、近代において元禄赤穂事件、「忠臣蔵」がどのように評価されるようになったかについて真山青果『元禄忠臣蔵』を論じる。
	准教授 三浦 謙	
	教授 神田由築	
	教授 内藤 俊史	
	東京大学人文社会系研究科 教授 頼住 光子	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可 ・ ○否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">○エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、 もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	<p>審査委員会では、資料をよく読んでおり、意欲的であるという評価があった。しかし、一方で元禄赤穂事件と「忠臣蔵」との定義が曖昧であるとか、また「義」の説明に不十分なところがあるなど指摘があった。最終試験においては、学位申請者がこれらの提案について書き換えをしたことを確認した。また公開発表会においても活発に議論が行われた。</p> <p>以上により、本論文は博士号に十分値すると判断した。なお学位の名称は、博士（人文科学）で、英語表記は Ph.D.in Ethics である。</p>

